



生徒と教師の合い言葉
 ～気づき、考え、実行する～
 裏磐梯中学校だより 令和6年3月号
<https://kitashiobara.fcs.ed.jp>
 発行者：校長 斎藤 一範

思いのこもった卒業証書授与式

3月13日(水)にたくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席を賜り、令和5年度の卒業証書授与式を挙行いたしました。

厳粛な中にも裏磐梯中学校の子どもたちの「優しさ」「真剣さ」「一生懸命さ」など、たくさんのすばらしい部分が詰まった卒業証書授与式となりました。

答辞では、これまでお世話になった家族、後輩、先生方への感謝の気持ちや一緒に過ごしてきた仲間一人一人への思いが表現されており、とても心に響きました。

送辞では、これまでお世話になった3年生とのかけがえのない思い出や別れなければならないさみしさ、これから学校を引っ張っていく決意が述べられており、たいへん感動しました。

卒業生之歌「YELL」、在校生之歌「明日へつなぐもの」、そして全校生での式歌「旅立ちの日に」の3曲の式歌からも裏磐梯中の子どもたちの温かな思いが伝わってきました。

卒業生には、これからも夢や目標に向かって、達成するためにはどうしたらよいかをよく考え、精一杯努力を重ねてほしいと思います。努力を重ねていれば、その姿を見守ってくれている人が、そっと支えてくれるはずですよ。卒業生のこれからの活躍を期待しています。

お忙しい中、ご臨席を賜りました、ご来賓の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。引き続き、本校教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。



立志のつどい

3月18日(月)に2年生が立志のつどいを行いました。立志証書授与の後、目指す大人像を生徒一人一人が、保護者の前で堂々と発表しました。「人のために行動できる大人になる」「諦めず自信をもって行動できる大人になる」「友達や家族を思いやることのできる大人になる」「周囲と協力して行動できる大人になる」など一人一人が書いた志を忘れずに、令和6年度はさらに成長して行ってほしいと思います。また、学年委員長の小椋さんからは、心温まる励ましの言葉をいただき、生徒たちはさらに志を強くしました。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、ありがとうございました。



3年生を送る会

3月8日(金)に3年生を送る会を行いました。3年生の思い出に残る時間にしようと、1・2年生が一生懸命に準備し、当日を迎えました。1・2年生が考えた、ジェスチャーゲームや連想ゲームをチーム対抗戦で行い、会場全体が笑顔で一杯になりました。最後に3年生一人一人がこの3年間の思い出や後輩に向けたメッセージを送りました。とても温かい雰囲気にも包まれた時間となりました。



環境保全のための募金活動結果報告

3月5日(火)に3年生2名が、北塩原村役場を訪問し、今年度、総合的な学習の時間を通して行ってきた裏磐梯の自然環境を守るための取組や募金活動の報告を行いました。代表の佐藤さんと齋藤くんが、文化祭で協力を呼びかけた募金を遠藤村長に直接お渡ししました。3年生は、授業を通して、ふるさとの魅力を見つめるとともに、自分たちができることを考え、環境を守るための募金活動の他に、清掃活動や観光客への呼びかけを行ってきました。裏磐梯の雄大で美しい自然環境を守っていききたいという子どもたちの思いが、たくさんの方々へ伝わるといいなと思っています。



ネイチャースキー体験 (森林環境学習)

2月20日(火)に2年生がネイチャースキー体験を行いました。本校では、保健体育の授業で全校生がクロスカントリーに取り組んでいます。その成果を確認する意味で毎年2年生がB級検定に挑戦しています。今年度は雪が少なく、実施が心配されましたが、福島県スキー連盟の皆様にご協力いただき、裏磐梯の自然を満喫しながら楽しくネイチャースキーを体験することができました。ふるさと裏磐梯の魅力を味わうことのできたひとときだったのではないかと思います。今年もご協力いただきました小椋様をはじめ福島県スキー連盟の皆様、ありがとうございました。

